

『兼滿漢語滿洲套話清文啓蒙』における注音の内部差異(2)

竹越 孝

[承前]

4. -oo と -ao の分布

まず、出現個所に一定の偏りを持って音形が分布していると思われる例として -oo と -ao の例を取り上げてみたい。現代北京音で -ao または -iao となる、十六摂で言えば効摂の字について、音形ごとの出現個所を示した表を以下に掲げる。表2と同様、乙類の字体に属する部分には網掛けを施す。なお、既に表2に示した“老”、“了”、“教”、“叫”、“小”については省略する。

表3：-oo と -ao の出現個所(北京音 -ao)

声母	漢字	音形(数)	出現個所
b	報/报	boo (6)	9b2, 16b5, 23a5, 23b1, 24a1, 42a4
	保	boo (3)	42b2, 78a3, 78a5
	飽	boo (1)	68b2
	抱	boo (1)	73b1
p	跑	poo (1)	49a2
m	貌	mao (1)	21a5
d	道	dao (37)	1a3, 1a5, 3b3, 3b4, 3b5, 3b5, 4a1, 4b1, 5a1, 5b2, 13b5, 15a3, 17b3, 22a5, 23a3, 26b1, 27b1, 28a1, 34b3, 35a2, 35a3, 47b5, 49a3, 50a2, 51a2, 53a5, 53b5, 56a5, 62b4, 64b1, 64b1, 69b5, 73b1, 75a3, 75b2, 76a2, 76a2
	到	dao (24)	3a4, 6a5, 7b2, 8a4, 13b3, 15b1, 16a3, 18a4, 18a5, 19b1, 26a1, 26b1, 29a4, 29b2, 31b3, 33a5, 41a2, 42b5, 49a4, 49b2, 50b5, 51a3, 68a1, 70a1
	倒	dao (7)	27a3, 31a1, 36b1, 37a3, 37b5, 71a3, 77b1
	叨	dao (3)	3b2, 3b2, 79b1
	導	dao (1)	35a1
t	套	tao (2)	5a4, 5b3
	討	tao (3)	28a3, 29b5, 77b1
n	惱	nao (2)	10b1, 64b3
	鬧	nao (1)	73a2

l	勞/劳	lao (3)	26b3, 43a5, 56b4
	撈	loo (1)	28a1
z	遭	dzao (11)	1b5, 2b5, 13a3, 26a1, 32a1, 53a2, 53a2 62b2, 71b3, 78b4, 78b4
	造	dzao (2)	30b2, 31a5
	早	dzao (3)	58a4, 64a3, 71a4
	糟	dzao (1)	6b2
	嘈	dzao (1)	36b5
	搔	dzao (1)	57b5
c	草	ts'ao (1)	39a2
s	掃	sao (2)	58a2, 58a4
	嫂	sao (1)	52a5
zh	趙	jao (3)	46a3, 46a4, 46b1
	照	jao (2)	48b5, 49a1
	找	jao (1)	63a3
ch	抄	cao (3)	22b2, 54a1, 54b2
	炒	cao (1)	67a3
sh	少	šao (8)	11b5, 13a3, 24a4, 24a5, 35b3, 37b3, 41a4, 48a1
	燒	šao (2)	66b2, 73a5
r	遶	žao (1)	18b1
	擾	žao (1)	57b5
	饒	žao (1)	61b3
g	告	g'ao (17)	3a3, 3b2, 3b4, 3b5, 4a1, 4a2, 4a5, 17b2, 37b4, 38a2, 48b1, 53b4, 63a3, 63a4, 63a5, 63b3, 79a3
	高	g'ao (5)	4b4, 19b2, 21a4, 29b4, 46b5
k	考	k'ao (3)	48a2, 48a2, 48b3
h	好	h'ao (71)	5a2, 5a3, 8a5, 10b3, 11b3, 11b5, 11b5, 12a1, 12a1, 12a2, 12a2, 12a3, 12a4, 12a4, 12a4, 12a5, 12b2, 12b2, 12b3, 15b1, 16b2, 17b4, 18a2, 19b4, 22a5, 22b4, 26a1, 26a2, 27b1, 30a1, 31a2, 31b1, 31b1, 31b3, 32b1, 33a1, 33a1, 34a1, 37a3, 41a1, 45b2, 46b5, 50a5, 51b2, 51b2, 52a5, 52a5, 52a5, 52a5, 52a5, 52b1, 55b4, 55b4, 55b4, 55b4, 59a1, 59a2, 59a4, 59b5, 64b5, 66a5, 66b2, 70b2, 71a2, 71a3, 73a2, 74a3, 76a4, 77a1, 77a3, 78b1
	号	h'ao (1)	46b1
∅	熬	ao (1)	36b1

表 4 : -oo と -ao の分布 (北京音 -iao)

声母	漢字	音形 (数)	出現個所
p	瓢	piyoo (2)	37a1, 37a1
d	吊	diyao (1)	47a4
		diyoo (1)	59a3
t	條	tiyoo (1)	28b2
l	撩	liyoo (2)	37a3, 51a5
j	交	giyao (1)	5a5
	較	giyao (1)	49b4
	嚼	giyao (1)	24b1
	脚	giyoo (1)	37a1
	轄	giyoo (1)	73a4
q	巧	kiyao (1)	20b3
		kiyoo (1)	38b2
	哨	kiyoo (9)	42a2, 45b1, 49a2, 54a3, 55b3, 56a1, 56b3, 62a2, 63a2
	悄	kiyoo (1)	67b1
x	消	siyoo (1)	36a4
	曉	hiyao (1)	3b4
	笑	hiyao (1)	11a5
		hiyoo (2)	67b2, 73b2
	効	hiyao (1)	23a5
y	要	yao (55)	2a2, 2b2, 3a2, 5a2, 5b1, 6b1, 8a4, 8a5, 8b3, 10b1, 11a5, 12a4, 12b4, 12b5, 13a2, 13a4, 13b5, 15a1, 15a5, 15a5, 15b1, 15b3, 15b4, 16a1, 16a2, 17b4, 18b2, 18b3, 19a3, 19b5, 20a3, 20b3, 27b1, 30a3, 30a3, 32b1, 33a2, 36b1, 38b2, 42b4, 43a3, 54b1, 56a1, 56a4, 57b3, 58b2, 64a3, 64b4, 65b2, 66b4, 67a2, 70a3, 76a3, 76b4, 78a1
	藥	yo (3)	11b2, 61b4, 61b4

先の表 2 と合わせて以上の二つの表を見ると、-ao で表記されるものについては特に分布上の偏りは認められないが、-oo で表記されるものについては一定の偏りが認められるようである。-oo の音形を持つものが甲・乙類の字体のうちどちらに分布しているかについて調べて見ると以下のようなになる。

表 5 : -oo の音形と字体の相関

声母	漢字	音形	甲類	乙類	計
b	報/報	boo	5	1	6
	保	boo	0	3	3
	飽	boo	0	1	1
	抱	boo	0	1	1
p	跑	poo	0	1	1
	瓢	piyoo	0	2	2
d	吊	diyao	0	1	1
		diyoo	0	1	1
t	條	tiyoo	0	1	1
l	撈	loo	0	1	1
	老	lao	1	1	2
		loo	0	6	6
	了	liyao	67	1	68
		liyoo	3	134	137
撩	liyoo	0	2	2	
j	教	giyao	3	0	3
		giyoo	0	3	3
	叫	giyao	14	0	14
		giyoo	0	20	20
	脚	giyoo	0	1	1
	轎	giyoo	0	1	1
q	巧	kiyao	1	0	1
		kiyoo	1	0	1
	哨	kiyoo	0	9	9
	悄	kiyoo	0	1	1
	喬	kiyoo	0	1	1
x	小	siyao	2	0	2
		siyoo	0	15	15
	消	siyoo	0	1	1
	笑	hiyao	1	0	1
		hiyoo	0	2	2

全体として見ると、“報”などを例外として、-oo の形は乙類に見られる傾向

が強いと言えるであろう。特に -ao と -oo の双方の音形を持つ字のうち、“了”、“教”、“叫”、“小” などにおいては、-ao が甲類、-oo が乙類に分布するという傾向が非常に顕著である。

満漢『千字文』の諸テキストに見られる満洲文字注音を検討した岸田（1994）によれば、清代では古い正書法（表記規範）に従う資料ほど -oo が用いられる傾向にあるという。本書では、相対的に乙類が古い正書法、甲類が新しい正書法に従っている可能性がある。

[待続]

#### <参考文献>

岸田文隆（1994）「満洲字による漢字音表記の規範化—満洲字千字文を資料として—」『言語学研究』13：1-23.